

2016年度 後期		リフレクションペーパー						
学科名	情報学科							
科目名	プロジェクト管理							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期			
必修・選択の別	選択科目(ネットワークコース) 選択科目(ソフトウェアコース)							
担当者	高橋圭一							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトの定義を説明できる。</li> <li>・PMBOKの概要について説明することができる。</li> <li>・プロジェクト計画書を作成し進捗管理することができる。</li> <li>・プロジェクトの分析手法について知っている。</li> </ul>							
日程と内容	第1回：導入講義-本科目の目標と概要の説明。講義の進め方と評価方法の説明。 第2回：プロジェクト定義、プロジェクト管理、PMBOK基礎 第3回：PMBOK事例 第4回：プロジェクトと組織 第5回：スコープとWBS 第6回：WBS（演習） 第7回：スケジュール作成基礎 第8回：スケジュール作成（演習：MS-Excel） 第9回：スケジュール作成（演習：OpenProj） 第10回：リソースの割り当て 第11回：コスト見積り 第12回：リスクマネジメント 第13回：差異分析、EVM 第14回：EVM（演習） 第15回：まとめ 定期試験							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	30%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトの定義を説明できる。：達成した</li> <li>・PMBOKの概要について説明することができる。：達成した</li> <li>・プロジェクト計画書を作成し進捗管理することができる。：達成した</li> <li>・プロジェクトの分析手法について知っている。：達成した</li> </ul>							
反省点	定期試験では出題箇所をあらかじめ講義内で指導するなど、学習の要点を明示し強調しているつもりだが、定期試験ではあまり知識の定着がみられず、結果的に30%の課題点で救済されることが多い。							
来年度の計画	成績評価基準の配点を見直して(定期試験80%、課題20%)、最終的にしっかり知識が身につけられるようにしたい。							
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は7.6であった。昨年度が7.9であったのに対して0.3ポイント低下した。10年近く本講義を担当しているが10点満点で2や3をつける学生が3名ほどいた。残念ながら理由は書かれていないが、講義内容には大きな変更点はないことを考えると学生が変化していて講義が対応できていないことが原因かもしれない。							
履修登録者数	30名	定期試験受験者数	29名	合格者数	27名	合格率	93%	